

# 浜田林業部トピックス(4月号)

## TOPICS1

### 鳥獣保護管理員を委嘱しました！

#### ・西部農林水産振興センター所長から委嘱状を交付

4月11日（金）に浜田合同庁舎で、鳥獣保護管理員の委嘱式を行い、西部農林水産振興センター所長から委嘱状を交付しました。今年度は、江津・浜田地域内の担当エリアごとに、新任2名を含む6名の方に務めていただきます。

#### 鳥獣保護管理員とは？

鳥獣の保護管理を適切に遂行するため、鳥獣保護区等の管理や捕獲に関する指導・取締り、生息状況等調査、普及啓発などの業務を行う県の非常勤職員です。

地域に精通し、業務に必要な知識・技量を有し、かつ鳥獣の保護管理に対して熱意を持っている方に、県が委嘱するものです。

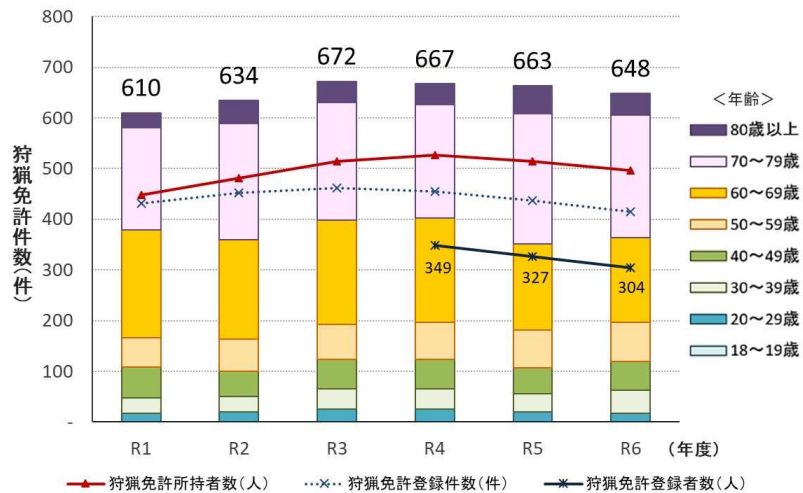


令和7年度鳥獣保護管理員メンバー  
(中央：センター所長)

#### ・今年度の活動に関する会議の開催

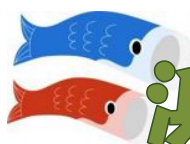
適切な業務遂行のため、委嘱式の後、会議を開催し、島根県における野生鳥獣の捕獲・生息状況や被害の現状、課題、対策方針について情報共有を行いました。

昨年度、江津・浜田地域では、ツキノワグマの捕獲数が過去最多となり、ニホンジカの捕獲数も大幅に増加しました。このような現状を踏まえ、鳥獣保護管理員からは、捕獲者の確保の取組を強化すべきとの意見がありました。右のグラフのとおり、同地域の捕獲の担い手は高齢化が進み、人数も減少傾向です。

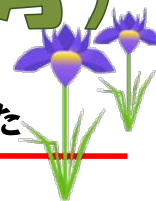


江津・浜田地域の狩猟免許数等の推移

県としても、捕獲の担い手の確保を重要な課題ととらえており、今年度から始まった第2期農林水産基本計画では、捕獲技術の向上を促す研修を充実させるとともに、農業者等の狩猟免許の取得を推進し、持続可能な捕獲体制の構築に取り組むこととしています。



# 浜田林業部トピックス(5月号)



TOPICS1

ほし  
第22回いわみ中央乾椎茸品評会が開催されました

5月22日(木)に浜田市黒川町のJAしまね いわみ中央地区本部「ふれあいホール」において、第22回いわみ中央乾椎茸品評会の表彰式が開催されました。この品評会は、浜田地域の乾椎茸の品質向上、規格の統一、生産意欲の向上などを目的に、JAしまねいわみ中央地区本部の主催で毎年実施されています。

今年の出品数は、箱物(JA全農規格箱)3点、普通物(目安700g)25点であり、傘の形状や大きさのそろい具合などをポイントに審査を行いました。箱物の部では、最優秀賞を1点、優秀賞2点の計3点、普通物の部では、最優秀賞1点、優秀賞5点、優良賞2点、佳良賞2点の計10点を決定しました。

今回は、箱物・普通物ともに、大きさが揃っており、かつ、傘の巻きや形状、ヒダの色目が特に均一となっている点が高く評価され、「こうしん」が最優秀賞を受賞しました。

## 〔最優秀賞受賞の様子〕



箱物の部で最優秀賞を受賞する  
岩地 正男さん(右)



岩地 正男さん出品の  
「こうしん」(箱物)



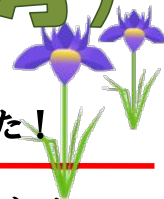
普通物の部で最優秀賞を受賞する  
奥本 一徳さん(右)



奥本 一徳さん出品の  
「こうしん」(普通物)



# 浜田林業部トピックス(6月号)



## TOPICS 1

### 浜商生のための地元企業セミナー2025が開催されました!

6月11日(水)に島根県立浜田商業高等学校において、「浜商生のための地元企業セミナー2025」が開催されました。本セミナーは①地元の企業を身近に感じ、地元企業について理解を深めること、②企業の取組から地域の魅力や課題を学び、進路選択に活かす機会とすること、③様々な職種に興味を持ち、進路選択の幅を広げることを目的として毎年開催されており、今年は29社の地元企業が参加しました。

浜田市金城町にある石央森林組合もこのセミナーに参加し、将来の林業の担い手となり得る高校生たちに向けて、林業の魅力や自然保護の大切さなどの説明を行いました。また、普段触れる機会の少ないチェーンソーやシカの角など、林業ならではのモノを用意しており、高校生は興味深そうに手に取っていました。当センター担当者も説明者として参加し、島根県の林業に関する説明や島根県立農林大学校林業科の紹介を行いました。

こういった取り組みを続けることで、高校生の林業に対する関心が深まり、ひいては将来の職業選択において、林業が選択肢の一つとなることを期待しています。



当日の様子

# 浜田林業部トピックス(7月号)

## TOPICS

## 治山施設の点検を行いました



6月25日(水)に浜田市上府町地内の地すべり防止区域である「安国寺地区」の地すべり防止施設や治山施設を点検しました。

この点検は、山地災害に対する地域住民の防災意識の高揚に資するために、全国で実施された「令和7年度山地災害防止キャンペーン」(期間：5月20日～6月30日)に併せて実施しました。

講師として、しまね森林活動サポートセンターの森林技術サポーター2名を迎え、西部農林水産振興センター13名、浜田県土整備事務所5名が、参加した技術研修を兼ねて実施しました。点検では、コンクリート製土留、アンカー、排水ボーリング暗渠孔、水路等に、ひび割れが発生していないか、異常な湧水の有無等を目視にて確認を行い、異常は見受けられませんでした。

また、点検を行っている際、施設の近くにお住いの住民の方から、排水ボーリング暗渠孔から出ている水について、質問を受けました。この排水ボーリング暗渠孔の機能や効果を説明し、理解していただきました。

今後も、施設の点検等を実施、適切な管理を行い、山地災害を未然に防げるよう努めていきたいと考えています。



当日の様子

# 浜田林業部トピックス(9月号)

## TOPICS1

### ツキノワグマによる人身事故防止のための安全講習を行いました！

9月1日(月)江津市森林組合において、ツキノワグマによる人身事故を防止するため、ツキノワグマの習性、遭遇しないための対策及び遭遇した時の対処法について講習を行いました。この講習は同組合の安全衛生講習の一環として企画されたもので、森林組合職員及び作業員の計18名が参加しました。

江津市では、令和6年3月に林内作業中の男性1名がツキノワグマに襲われて、顔や手を噛まれる被害が発生しています。今回の講習が参加者の皆さんにとって、改めてツキノワグマによる人身事故防止対策の意識を高めていただく機会となれば幸いです。



講習の様子

#### ツキノワグマの特徴

##### 視覚

あまりよくない

##### 食性

植物食性に偏った雑食性

##### 聴覚

優れている

##### 嗅覚

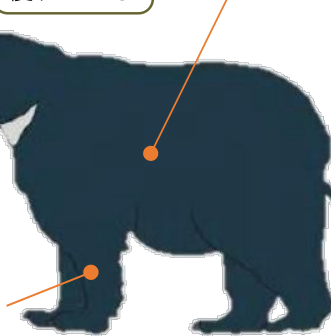
優れている

##### 運動能力

とても速く走れ、木登り、泳ぎも得意

体長 100～150cm (オスはメスよりも大きい)

体重 30～130kg



#### 人身被害を防ぐために

クマは人とばったり出会うと、自身や子グマを守るために攻撃することがあります。もし子グマを見かけても、絶対に近づかないでください！近くに母グマがいます。

#### クマと出会わないために

- ・朝方や夕方はクマが活発に行動する時間帯のため、特に注意しましょう！
- ・鈴やラジオなど音を出して人間の存在に気付いてもらいましょう！

雨の日や沢沿いは音が伝わりにくいので、意識して大きな音を出しましょう。また、山菜採りなどではクマへの注意が散漫になるので気をつけましょう。

#### もしクマと出会ってしまったら

##### ▶クマがこちらに気づいていない場合

クマの様子を見つつ、その場から速やかに離れましょう。

##### ▶クマがこちらに気づいている場合

クマの動きを見ながら、背中を向けず、ゆっくり後ずさりして逃げましょう。

##### ▶至近距離でクマに遭遇した場合

クマスプレーを噴射したり、両腕で顔や頭を覆い、うつ伏せになるなどしてダメージを最小限に抑えることが重要です。クマは一撃を与えた後にすぐ逃げる人が多いとされています。





# 浜田林業部トピックス(12月号)



## TOPICS 1

## 苗木運搬の省力化技術研修会を開催しました！

12月17日（水）に、森林整備の省力化に向けた取組を推進するため、苗木運搬の省力化技術研修会を開催しました（共催：江の川下流域林業活性化センター、島根県公社造林推進協議会、浜田地方農林業振興協議会、島根県）。

研修会では、午前は現場でのドローンによる苗木運搬及びコンテナ苗運搬車（斜楽）による植栽作業の実演を予定していましたが、あいにく雨天となったため、コンテナ苗運搬車の実演のみとなりました。午後からは、林野庁職員からドローンに関する法令等の講演と、石央森林組合職員から苗木運搬に向けた取組状況の報告を行いました。

参加者からは、コンテナ苗運搬車の実演については「緩傾斜地での作業では省力化につながる」や「走行性や操作性は改良が必要」、午後からの座学については「ドローン関係の法令を再認識できた」といった意見が寄せられました。

労働強度が大きく、労働災害の発生率が高い林業分野において、就業者を確保していくためには、現場作業の省力化を図っていくことが重要です。今後も関係機関と連携し、課題解決に向けた取組を進めていきたいと考えています。



コンテナ苗運搬車の実演の状況



林野庁職員による講演



石央森林組合職員による報告

## 浜田林業部トピックス(2月号)

### TOPICS 1

### 県産材活用セミナーを開催しました！

2月12日(木)に、地域材を活用した木造建築を推進していくために、改正建築基準法や省エネ関係の制度等をテーマとした「県産材活用セミナー」をポリテクカレッジ島根(江津市二宮町)で開催しました。このセミナーは、地域の複数の工務店からの要望を受けて開催することになり、管内の工務店や行政機関の建築担当者を含め17名が参加しました。講師は、各テーマの内容を学生に指導している諸石先生と稲森先生に対応していただきました。

改正建築基準法の講義では、壁量計算の考え方や壁量のバランスの重要性等について説明されました。省エネ関係の講義では、省エネ基準の内容や将来的な省エネ建築の動向等について説明があり、省エネの計算等を支援するPC用のソフトウェアについても複数の事例を紹介されました。

参加者からは、壁量計算等の考え方や省エネ義務化について、理解を深めることができたという意見があった一方で、講義時間が短かったことから、もっと詳細な講義を受けたかったという意見もありました。次回の開催では、講義時間や内容の充実といった点を改善し、工務店や建築士の方に木造建築への理解を深めてもらう機会にしていきたいと考えています。



研修会の状況